

グローバルビジョン 報告概要

図書館の注目すべき役割と目指すべき活動 トップ 10



190 カ国



7 大陸から参加した
国連加盟国

469,152 年



報告に貢献してくれた人の
図書館経験年数の合計

すべての



世代と館種を網羅

9,291 名



ワークショップ参加者

185 件



ワークショップ

21,772 名



オンライン投票者

重要な発見

図書館の目標と価値は世界中で一致している

最も重要な発見は、地域、館種及び図書館実務経験の長さを問わず、図書館のゆるぎない価値と役割に対する深い責任を、図書館員が共有しているということである。

図書館は世界における行動と地域における行動とを効果的に結びつけなければならない

地域の特徴とニーズを認識することが、共通の課題に対処するに当たり図書館界の一致団結を図る今後の取り組みにおいて不可欠となる。

図書館の注目すべき 10 の役割

1. 図書館は情報及び知識への平等かつ自由なアクセスの実現に全力を尽くしている

図書館界全体において、情報及び知識への平等かつ自由なアクセスに対する責任という価値が、何よりも高く評価された。

2. 図書館は識字、学習及び読書の支援に引き続き深く関与していく

図書館が従来力を入れてきた分野、すなわち、学習、識字及び読書の支援は、図書館が果たすべき使命の中心をなすものとして広く認められている。

3. 図書館は地域社会に奉仕することに焦点を合わせる

地域社会をどのように定義するかにかかわらず、図書館は利用者のニーズを満たすことに対する深い責任を共有している。図書館は多様性、インクルージョン、非商業的な公共スペースを提供することの重要性を、高く評価する。

4. 図書館はデジタル革新を受け入れる

すでに図書館において、いかに幅広く技術を利用することが可能であっても、また、実際に技術を活用していても、図書館界は、社会を豊かにするという図書館の可能性の実現にはデジタル革新の役割が欠かせないことに強く同意する。

図書館が目指すべき 10 の活動

1. 図書館は知的自由の擁護者でなければならない

情報及び知識への平等かつ自由なアクセスは、表現の自由に基づいている。これを保障する図書館の役割が、より深く理解されなければならない。

2. 図書館の伝統的な役割をデジタル時代に合わせて更新していかなければならない

デジタル時代においても学習、識字及び読書を有意義に支援していくために、図書館は絶えず適応していかなければならない。利用者の変わりゆく期待に応えるべく、サービス、蔵書及び実践の開発が行われなければならない。

3. 図書館は地域社会のニーズをより深く理解し、インパクトをもたらすサービスを設計する必要がある

図書館による支援活動の拡大は、地域のパートナーと連携し、地域社会における新規の部門や十分なサービスが受けられていない部門との関係を築き、人々の生活に評価可能なインパクトを与えることに役立つ。

4. 図書館は現在進行中の技術変革に遅れずについていかななければならない

すべての図書館が、デジタル革新によってもたらされる好機をとらえるための適切なツール、インフラ、財源及びスキルを確実に得られるようにすることが、早急に必要とされている。

5. 図書館には強力なアドボカシーの必要性を認識しているリーダーがいる

リーダーシップをとる立場にある者は、リーダー、インフルエンサー及び広く地域社会とともに擁護活動を進めていく必要性を、優先度の高いものとして一貫して認識している。

6. 図書館は資金調達最大の課題の1つであると認識している

インパクトを与えるべく資金を確保し、配分することは、地域社会のニーズに効果的に対応するサービスの提供における重要な部分である。

7. 図書館は、協力関係とパートナーシップの構築の必要性を認識している

図書館は、互いに協力し、外部と連携して行動することが、強力な図書館界連合の創設に不可欠であることを認める。

8. 図書館は、官僚主義、柔軟性のなさ、改革への抵抗を減らしたいと考えている

図書館界は、その取り組みにおいてより積極的であり、革新を進んで取り入れ、時代遅れの実践や限定的な実践をすぐにでも廃止したいという願いを共有している。

9. 図書館は世界の記憶の保管者である

図書館は、世界の記録遺産と、それが内包する思想及び創造性の、最も重要なリポジトリである。図書館は、将来の世代のために知識を保持し、整理することに比類なく長けている。

10. 図書館の若き専門家は、深く関与し、熱意をもって主導する

図書館界での経験が浅い者によるこのプロセスへの深い関与は、将来の図書館界の構築に参加したいという願望の証である。

5. 図書館はあらゆる段階において、より多くの、かつ、より優れた擁護者を必要としている

認識を高め、最終的に目標を達成するためにはアドボカシーが必要であることを、図書館界の誰もがより深く理解する必要がある。すべての図書館員が擁護者なのだ！

6. 図書館はステークホルダーに、図書館の価値と図書館が与えるインパクトを確実に理解してもらう必要がある

図書館は価値をもたらすことができるということに関して、より強力な論証を示すことで、意思決定者の認知度を高め、その支持を得ることができる。

7. 図書館は協力の精神を育む必要がある

協力を阻む実際の障壁及び障壁があるという認識について理解し、これらに取り組むことは、単独で行動する傾向に終止符を打ち、図書館界連合のビジョンを実現することに役立つ。

8. 図書館は現在のシステムと行動を変える必要がある

受身の考え方をやめ、革新と変化を受け入れることで、図書館界が直面している課題に取り組むことができるようになる。

9. 図書館は世界の記録遺産へのアクセスを最大限に広げる必要がある

図書館界連合として、革新的な実践とツールを適用し、専門知識と資源を共有し、法的課題と資金調達に関する課題の解決策を支持し、保護している著作物へのアクセスを提供しなければならない。

10. 図書館は若き専門家に、学習、開発及び主導の効果的な機会を提供しなければならない

図書館には若き図書館専門家を育て、結びつける力があるが、それは変わりゆくニーズに遅れずに対応し、彼らが将来のリーダーとなれるようにするものでなければならない。

図書館のビジョン、図書館の未来：

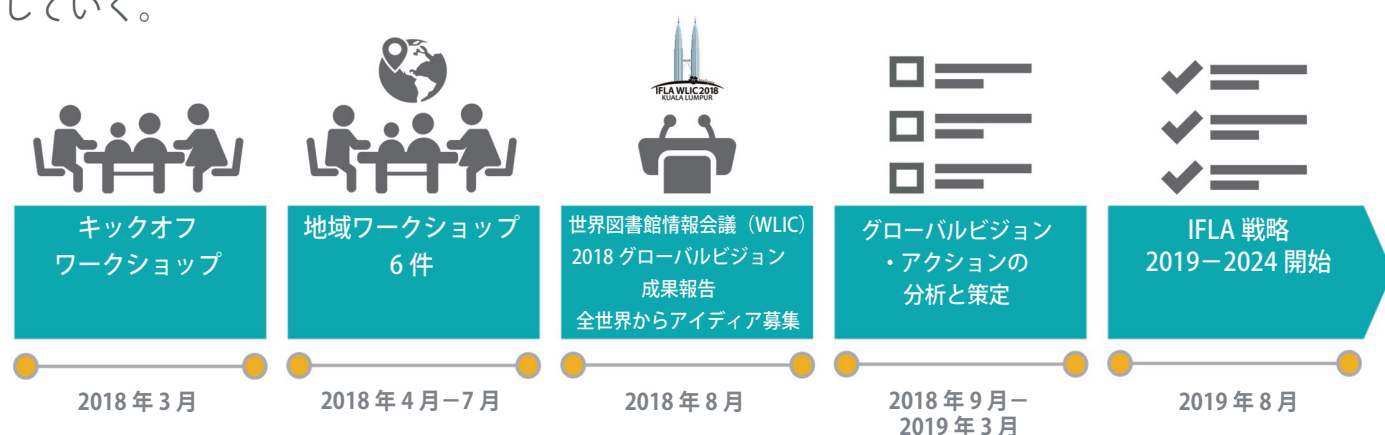
人々が識字力を備え、十分な情報を得ることができる、参加型の社会を促進する、強力な、一致団結して結ばれた図書館界

図書館界が直面している、果てしなく続くグローバル化の課題は、図書館界連合によるインクルーシブでグローバルな対応によってのみ対処し、克服することができる。そこで IFLA は、グローバルビジョン・ディスカッションを立ち上げた。これは、図書館界連合の将来に向けたロードマップを作成する試みである。

今までにこのようなイニシアティブはなく、これにより世界中のすべての図書館員一人ひとりに貢献の機会がもたらされる。また、これほど多くの図書館員が、世界のこれほど多くの地域から、1つのグローバルな対話に貢献したことは、いまだかつてない。

2017年、IFLA は世界各地の図書館界の課題ととるべき行動に関する調査を開始した。7大陸すべてから190の国連加盟国がこれに貢献し、その結果、図書館の目標と価値が世界中で一致していることが明らかになった。しかし、図書館は世界における行動と地域における行動とを効果的に結びつけなければならない。地域の特徴とニーズを認識することが、共通の課題に対処するに当たり図書館界の一致団結を図る今後の取り組みにおいて不可欠となる。

2018年現在、IFLA は行動のための最大のアイデアストア、すなわち、すべての図書館員と IFLA が将来の計画を立てる際のインスピレーション源を作成している。IFLA は一連のワークショップとオンラインプラットフォームを通じて、世界中の図書館員からアイデアを集めたいと考えている。これにより、すべての地域とすべての館種がどのように役割を果たせるかを明らかにすることができる。寄せられたアイデアを用いて IFLA は、人々が識字力を備え、十分な情報を得ることができる、参加型の社会を促進する、強力な、一致団結して結ばれた図書館界というビジョンを、現実へと転じる戦略と行動計画を策定していく。



#iflaGlobalVision

ifla.org/globalvision